

女性農業者経営力向上

中区で県西部農林事務所若手へセミナー開講

若手女性農業者の経営力向上とネットワークづくりを目的にし、富士山セミナー「つながる」



大場さん(右)から接客のスキルを学ぶ参加者
=浜松市中区の県浜松総合庁舎

農業女子会(県西部農林事務所主催)が13日、浜松市中区の県浜松総合庁舎で始まった。県西部の30~40歳代の女性農業者18人が2019年2月まで講義や視察などを通じて経営改善や新たな商品開発などにつなげる。

初回は接客コンサルタント「和」(nago mi)（同区）の大場弘枝代表が、接客と社内のコミュニケーションについて講話をした。第一印象を良く

する三つのポイントとして「身だしなみ、笑顔、あいさつ」を挙げ、「店の雰囲気と客層、自分の身だしなみに調和が取れることは重要」と強調した。

職場のより良い環境作りに向けて、経営者が模範となる行動を見せることが従業員の長所を具体的に伝えて認める大きさを伝えた。今後は、東京五輪・パラリンピックの食材調達基準となる農業生産工程管理(GAP)認証について学ぶほか、マルシェの開催などを予定している。(浜松総局・佐野由香)

